

水稻技術情報 NO-9

令和2年6月18日
JA 営農支援課

生育は「ほぼ平年並み」も良好

1. 水稻の生育状況(あきたこまち)

前回の調査以降、気温が高めに推移し「あきたこまち」の草丈・茎数・葉齢からみた生育は、村内平均で「**ほぼ平年並み**」であります。週間予報等では好天日が続く予報となっており、「葉色が濃い、茎数過多」の圃場も見受けられることから、茎数が多めの圃場では中干し前に一週間程度の深水管理による茎数抑制を図る等の管理に努めてください。

また、還元状態等により停滞気味の圃場も見受けられますので、以下を参考に生育の回復に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月17日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	31.4	31.2	229	233	7.2	7.6	43.0	40.9
(慣行)	30.9		210		6.9		41.0	
(側条ペースト等)	31.8		245		7.5		44.7	
前年比	110%		112%		0.2 葉		108%	
平年比	101%		98%		-0.4 葉		105%	
たつこもち	35.1	32.8	287	236	7.6	7.5	41.3	41.1
きぬのはだ	32.4	34.0	207	244	7.6	7.7	39.1	39.4
ときめきもち	29.9	32.5	283	219	7.7	7.3	39.9	39.2

2. 今後の技術対応

1) 水管理

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分けつの発生が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫酸を10a当たりN成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢9葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

2) 病虫害防除

・イナゴ

現在5mm～1cm程度のイナゴが見られております。食害が目立つ場合は、畦畔沿いにつきの薬剤を散布し防除してください。

- ①「トレボン粉剤DL」2～3kg/10a ②「トレボン乳剤」1,000～2,000倍

※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしくお願いいたします。